

地域とつながり 地域と活きる

3月26日(月) 18:00~20:00 @ Open Innovation Biotope "bee" (JR大阪駅直結)

地域共創のこれから

地域とつながり、セクターを越えて社会課題にアプローチしているゲストをお招きし、地域共創のあり方について学ぶ機会を設けます。また、特定の社会課題に対し、ひとつの組織で解決を試みるのではなく、企業、行政、NPO、基金、大学、市民などの立場の異なる組織が、組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い、同時に社会課題の解決を目指すアプローチ(コレクティブインパクト)の創出のあり方について、参加者の皆様と共に考えていきます。

日時：2018年3月26日(月) 18:00~20:00 (受付開始 17:30)

場所：大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワー A21階
Open Innovation Biotope "bee" (株式会社 岡村製作所 関西支社内)
アクセス：<http://workmill.jp/bee/access>

内容：ゲストによる話題提供、パネルセッション、Q&A

対象：企業、行政、NPO・団体の方々、大学教職員、大学学生、広く一般の方

定員：80人

参加：無料(事前のご登録が必要です)

ご登録方法：右のQRコード、もしくは下記URLよりご登録ください
http://workmill.jp/bee/osaka-u_event0326_form



ゲスト



尾崎 えり子氏 (Trist 代表、株式会社新閃(せん) 代表取締役)

香川県生まれ。千葉県流山市在住。早稲田大学法学部を卒業後、経営コンサルティング会社を経て子ども向け教育事業会社に転職。第1子の育児復帰後、子会社の代表取締役就任、第2子の出産をきっかけに退職。2014年に流山市で創業し、民間学堂のプロデュース、地域の子どもの子育て審議委員、自治体の創業支援事業の立ち上げに関わり、多くの女性起業家の輩出に貢献。2016年に「企業に選ばれる人材を地域に産み出し続ける」ことを目的にシェアサテライトオフィス「Trist」をオープンさせ、都内からの企業誘致に成功。メディア掲載、受賞歴多数。現在6歳と4歳の2児を育てるワーキングマザー。



長谷川 友紀氏 (コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事、公益財団法人あいちコミュニティ財団 事務局スタッフ)

愛知県生まれ。学生時代に国際協力を学び、ボランティア活動に興味を持つ。短大卒業後、地元自動車部品メーカーに就職し、社内の社会貢献活動に社員ボランティアとして参加。地域や社会の課題解決に夢中になって取り組む人の姿に共感し、2010年春よりコミュニティ・ユース・バンク momo (以下、momo) でボランティアスタッフ(momo レンジャー)として活動を開始。2011年からは理事を務める。ボランティアではなく、仕事で関わっていききたい気持ちが強くなり、2012年8月に会社を退職。momoの事務局スタッフを経て、2013年4月よりあいちコミュニティ財団の事務局スタッフとして勤務。



山崎 吾郎 (大阪大学 CO デザインセンター 准教授)

専門は文化人類学。主な著作に『臓器移植の人類学—身体の贈与と情動の経済』(世界思想社、2015年)などがある。この数年は、特に過疎地域における自然環境と社会環境の変化に関心をもち、調査研究を続けている。またその一方で、2012年より大阪大学博士課程リーディングプログラム(オールラウンド型)超域イノベーション博士課程プログラムにおいて、企業、行政、NPOなどとの協働によるPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)授業の開発、運営に関わっている。